

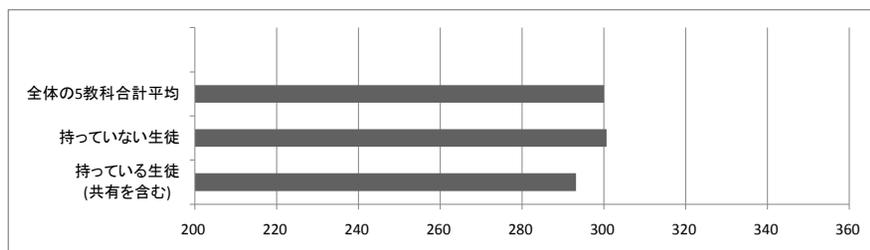
7月の地区懇談で配布させていただいた生活アンケート(HP公開中)の結果において、本校はスマホの所持(共用を含む)率が全国平均(55%)を大きく上回っていることや、所持している生徒の約30%(142人)がスマホ依存が疑われる3時間以上の使用者であることをお伝えしています。今回のアンケートでは、スマホ・睡眠時間等とテストの点数(5教科の合計得点)との関係を調査してみました。調査の対象としたテストは2学期の中間テストです。また、5教科の合計平均得点は学年によってばらつきがあるので300点を平均得点として換算して算出しています。

全校生所持率	持っている (家族と共用含む)	持っていない
	77%	23%

※全校生602人中、583人が解答

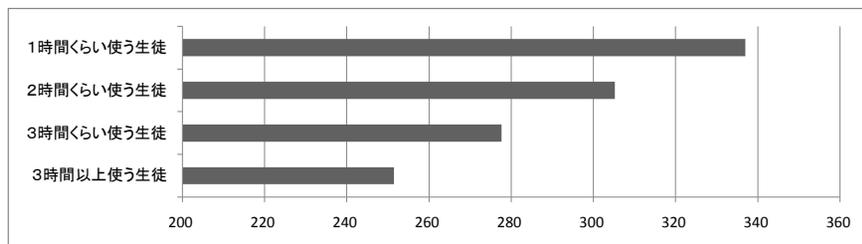
1. スマホの所持と、テストでの合計得点の関係

全体の5教科合計の平均得点	持っていない生徒の合計平均得点	持っている生徒の合計平均得点(共有含む)
300 点	301 点	293 点



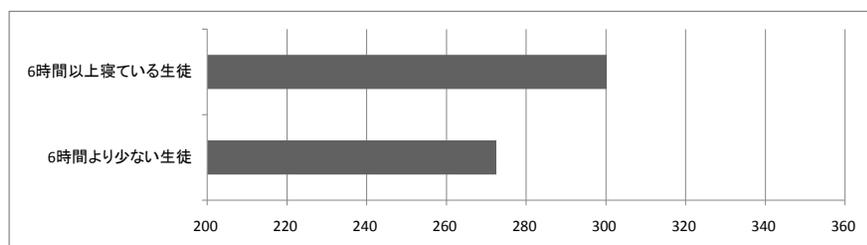
2. 平日におけるスマホの使用時間と、テストでの合計得点の関係

1時間くらい使う生徒	2時間くらい使う生徒	3時間くらい使う生徒	3時間以上使う生徒
337 点	305 点	278 点	251 点



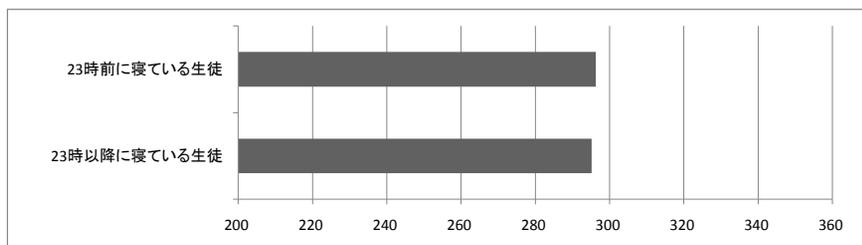
3. 睡眠時間と、テストでの合計得点の関係

毎日の睡眠時間が、6時間以上の生徒	毎日の睡眠時間が、6時間以下の生徒
300 点	273 点



4. 就寝時刻と、テストでの合計得点の関係

就寝時刻が、23時より前	就寝時刻が、23時より後
296 点	295 点



スマホの使用や睡眠時間が、テストの点と大きく関係していることが分かる結果となりました。また、4月から10月までで、スマホが関係しているトラブルは**22**件で、ほぼ毎週スマホに関する指導が入っていることとなります。ここで「本当に持たせるべきものなのか」「使わせるなら、どう使わせるべきものなのか」各家庭でもう一度話し合っていたかと同時に、ルールについて確認してみてください。

